

老舗酒井の
清酒 茶舗 和名物
浦和名物
電話 048 (822) 2110

食堂」は初の取り組み。2日間とも好評で、喜んでいる。夏休みだけでなく、冬休みも

笑顔忘れず 力強く生活

杉戸でガザの平和企画展

杉戸町大島の町生涯学習センターで、平和企画展「パレスチナのいま、ガザ地区で暮らす子ども達」が始まった。「高校生が描いた原爆の絵」も展示している。31日まで。町では平和の尊さについて考えてもらうため、内容を変え、町国際交流協会と共催で毎年実施している。今回は戦禍が続くパレスチナのガザ地区に焦点を当てた。



この共同作品。1年をかけて仕上げた26点が並ぶ。8月6日、父親がギターを弾き、若い娘が踊り、男の子たちが台所用品をたたいて演奏している写真や、停電でも子どものためにパンを焼く親の姿が写っている。テーマ「子どもたち」では、古い車のトランクに座り、貧しいながらもおもちゃの楽器で遊ぶ子どもたちがいる。写真は、現地の人が撮影した70点を展示。テーマ「生活」では、父親がギターを弾き、若い娘が踊り、男の子たちが台所用品をたたいて演奏している写真や、停電でも子どものためにパンを焼く親の姿が写っている。テーマ「子どもたち」では、古い車のトランクに座り、貧しいながらもおもちゃの楽器で遊ぶ子どもたちがいる。

見えた。寄付額は2万円で25人の限定となる。体験できるのは協田町の山車。1982年に制作され、上部には徳川家康の人形が飾られる。10月18日午前午後19日午後のうち、いずれかの1回で山車の綱を引くことができる。1回当たり概ね2時間の体験となる。当日は協田町の手拭いを受け取り、市民地域づくりを手がける一般社団法人「DMO川越」が企画した。担当者は「地元の人と共に川越の魅力に関わってもらいたい」と話している。体験の対象は小学生以上。概要は各種ポータルサイトで公開している。問い合わせは、DMO川越（☎049・299・7401）へ。（中嶋基人）

クリック

ゼミの羽化



真つ暗な中、足元に気を付けながら、木にライトを当てて確認して前に進む。は虫が大好きだ。一緒に道を歩いていても、「バッタだ」「なんと虫がい」「た」など一見どこにいても分からないような小さな虫でもすぐに見つける。そんな息子が「カブトムシとクワガタを捕りに行きたい」と言うので、友人から聞いた公園に行ってみることにした。虫網とヘッドライト、懐中電灯を用意し準備万端、日が完全に落ちた午後8時に出発。（石井大輔）

輻輳海域の東京湾と海運・港湾の現状

中学生記者大募集

東京湾の
現状と仕事を
リアル体験！！

募集要項